

S&P Dow Jones Indices

A Division of **S&P Global**

節目となる出来事

1896年

- チャールズ・ダウはダウ・ジョーンズ工業株価平均®を開発しました。

1923年

- スタンダード&プアーズの前身であるスタンダード・スタティスティックス・カンパニーは、233の企業から構成される最初の株式市場指数を開発しました。

1926年

- スタンダード・スタティスティックス・カンパニーは、90銘柄から成るコンポジット株価指数の算出を開始しました。

1941年

- スタンダード・スタティスティックス・カンパニーとプアーズ・パブリッシングが合併し、スタンダード&プアーズが誕生しました。
- 1923年に開発された同社の株式市場指標の構成銘柄は233銘柄から416銘柄に増加しました。

1946年

- ダウ・ジョーンズ工業株価平均は50周年を迎えました。

1957年

- スタンダード&プアーズは500銘柄で構成されるS&P 500®の算出を開始しました。

1972年

- S&P 500は毎日算出を行う初めての株価指数となりました。

1975年

- エクソンモービルは、S&P 500をベンチマークとする初めて年金基金を設立しました。
- 機関投資家向けの商品が個人向け商品になりました。バンガードが初めての個人投資家向けミューチュアル・ファンドとなるバンガード500を開発し、S&P 500をベンチマークとしました。

1982年

- CMEグループは、シカゴ・マーカンタイル取引所（CME）で初めて指数先物（S&P 500指数先物）の取引を始めました。

1983年

- シカゴ・オプション取引所（CBOE®）は初めて指数オプションの取引を始めました。このオプションはS&P 500とS&P 100に基づくものでした。

1991年

- スタンダード&プアーズは、有名な米国の中型株指数としては初となる S&P 中型株 400®指数の算出を開始しました。

1992年

- スタンダード&プアーズはバーラ（BARRA）と提携して、S&Pとしては初めてのスマート・ベータ指数となる S&P/Barra グロース及びバリュウ指数の算出を開始しました。

1993年

- ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズは、世界で最大かつ最も取引されているETFである SPDR® S&P 500を導入しました。
- シカゴ・オプション取引所（CBOE）は CBOE ボラティリティ指数®を導入しました。この指数は S&P 100 指数のボラティリティを測る尺度であり、VIX 指数と呼ばれています

1994年

- スタンダード&プアーズは S&P 小型株 600®指数の算出を開始しました。

1996年

- ダウ・ジョーンズ工業株価平均は 100 周年を迎えました。

1999年

- スタンダード&プアーズはトロント証券取引所と提携して、カナダ市場の新たなベンチマークである S&P/TSX 指数シリーズの算出を開始しました。
- スタンダード&プアーズは東京証券取引所と提携して、S&P 日本 500 指数や、S&P/TOPIX150 指数、S&P 日本中型株 100 指数、S&P 日本小型株 250 指数の算出を開始しました。
- ダウ・ジョーンズは RobecoSAM と提携して、サステナビリティの初めての世界的ベンチマークであるダウ・ジョーンズ・サステナビリティ™・ワールド指数の算出を開始しました。
- スタンダード&プアーズは MSCI と連携して、MSCI の米国株価指数を世界産業分類基準（GICS®）の構成に従って再分類しました。
- スタンダード&プアーズは、リアルタイムで投資可能な初めてのグローバル指数である S&P グローバル 1200 指数の算出を開始しました。この指数には、S&P 500、S&P ヨーロッパ 350®、S&P/TOPIX 150、S&P/TSX 60、S&P/ASX 50、S&P アジア 50、S&P ラテンアメリカ 40 が含まれます。

2000年

- スタンダード&プアーズは、世界銀行から IFC 新興国市場データ・ベース (EMDB) を取得し、IFCI 指数及び IFCG 指数を S&P/IFCI 指数及び S&P/IFCG 指数に名称変更しました
- スタンダード&プアーズはオーストラリア証券取引所 (ASX) と提携して、S&P/ASX 指数シリーズの算出を開始しました。
- バークレイズ・グローバル・インベスターズは、スタンダード&プアーズの指数に連動する iシェアーズ ETF を初めて導入しました。
- スタンダード&プアーズは S&P ナショナル地方債指数の算出を開始し、債券指数への参入を果たしました。

2003年

- スタンダード&プアーズは、以前のソロモン・スミスバーニー指数シリーズであるシティグループ・グローバル株価指数シリーズを取得しました。
- スタンダード&プアーズは、S&P の指数対アクティブ・ファンド(SPIVA®)のスコアカードを公表しました。SPIVA®スコアカードとは、アクティブ運用ファンドと指数 (パッシブ運用ファンド) のパフォーマンスを比較したレポートです。
- ダウ・ジョーンズは、主要な指数プロバイダーで初めての配当指数である米国セレクト配当指数の算出を開始しました。
- スタンダード&プアーズは S&P 均等ウェイト指数の算出を開始しました。

2004年

- スタンダード&プアーズは、S&P 500 指数や S&P 中型株 400 指数、S&P 小型株 600 指数を完全に浮動株調整に切り替えたことで、ベンチマークに連動するインデックス・ファンドの運用コストを削減し、投資可能ユニバースをより正確に反映しました。

2005年

- スタンダード&プアーズは S&P カスタム指数ソリューションを導入し、お客様にカスタマイズされた指数算出を提供しました。
- スタンダード&プアーズは S&P/Barra スタイル指数に替えて、S&P/シティグループ・マルチファクター・スタイル指数とピュア・スタイル指数の算出を開始しました。
- スタンダード&プアーズは S&P 配当貴族指数®の算出を開始しました。

2006年

- スタンダード&プアーズはファイサーブと提携して、S&P/ケース・シラー住宅価格指数の算出を開始しました。
- CBOE は上場 VIX オプションを初めて導入しました。
- スタンダード&プアーズは S&P BRIC 40 指数の算出を開始しました。
- スタンダード&プアーズは S&P シャリア指数の算出を開始しました。

2007年

- S&P 500 は 50 周年を迎えました。
- スタンダード&プアーズはゴールドマン・サックス・コモディティ・インデックス (GSCI) を取得し、S&P GSCI®に名称変更しました。

2008年

- スタンダード&プアーズは **S&P リスク・コントロール** 指数の算出を開始しました。
- スタンダード&プアーズは **S&P ターゲット日** 及び **S&P ターゲット・リスク** 指数シリーズの算出を開始しました。
- スタンダード&プアーズは、レバレッジド・ローン市場に連動する初めての指数である **S&P/LSTA 米国レバレッジド・ローン** 指数ファミリーの算出を開始しました。

2009年

- スタンダード&プアーズは韓国証券取引所 (KRX) と提携して、**S&P/KRX アジア 100** 指数及び **S&P/KRX 取引所** 指数の算出を開始しました。
- スタンダード&プアーズはトゥルーコスト社と提携して、環境に注目する初めての広範な米国市場指数である **S&P 米国カーボン・エフィシエント** 指数の算出を開始しました。

2010年

- **S&P インデックス** はエクスペリアン®と提携して、**S&P/エクスペリアン** 消費者クレジット・デフォルト指数シリーズの算出を開始しました。
- **S&P インデックス** は **BG** キャンター・マーケット・データと提携して、**S&P/BG** キャンター米短期国債指数と **S&P/BG** キャンター米国債指数の算出を開始しました。
- **S&P インデックス** はオーストラリア証券取引所と提携して、**S&P/ASX 200 VIX** 指数の算出を開始しました。
- **S&P インデックス** は **TMX** グループと提携して、**S&P/TSX 60 VIX** 指数の算出を開始しました。

2011年

- **S&P インデックス** は **CBOE** と提携して、**VIX** メソドロジーを使用する取引所のグローバル・ネットワークである **VIX** ネットワークを導入しました。
- **S&P インデックス** は、チリやコロンビア、ペルーの証券取引所により設立された統合取引ベンチャーであるラテンアメリカ統合市場 (MILA) と提携して、**MILA** 統合市場の広範な市場指数やセクター指数を開発しました。
- **S&P インデックス** は **ASX** と提携して、**S&P/ASX** 固定金利シリーズの算出を開始しました。
- **S&P インデックス** は **S&P** ファクター指数シリーズの一部として、**S&P 500** 低ボラティリティ指数の算出を開始しました。
-

2012年

- **S&P インデックス** の親会社であるザ・マグロウヒル・カンパニーとダウ・ジョーンズの親会社である **CME** グループは、**S&P** ダウ・ジョーンズ・インデックスを設立しました。
- **S&P** ダウ・ジョーンズ・インデックスは、**S&P** グローバル・イントリンシック・バリュー (GIVI®) 指数の算出を開始し、マルチファクター・スマートベータ指数への参入を果たしました。
- **AIG** サンアメリカは、ボラティリティに基づきプライシングを行う初めての変額年金保証である **VIX GLWB** の販売を開始しました。

2013年

- S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスはインドの BSE リミテッド（以前のボンベイ証券取引所）と提携して、合弁会社であるアジア・インデックス・プライベート・リミテッドを設立しました。

2014年

- S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは新しいバージョンのフラグシップ指数であるリマ総合株価指数（IGBVL）などの指数のライセンス供与・配布・管理・共同開発を行うために、ペルーのリマ証券取引所（BVL）と提携しました。
- S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは Valuación Operativa y Referencias de Mercado, S.A. de C.V. (Valmer)と提携して、S&P/Valmer メキシコ国債指数の算出を開始しました。
- S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは台湾証券取引所（TWSE）と提携して、S&P/TWSE 台湾低ボラティリティ高配当指数の算出を開始しました。
- S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスはラテンアメリカ統合市場（MILA）太平洋同盟と提携して、太平洋同盟（チリ、コロンビア、ペルー、メキシコ間における経済統合の推進を目指す戦略的プラットフォーム）の初めてのベンチマークである S&P MILA 太平洋同盟指数の算出を開始しました。
- S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスはダウ・ジョーンズ・コモディティ指数（DJCI）の算出を開始しました。
- S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスはエーオン/ヒューイットとミリマンの合弁会社であるヘルス・インデックス・アドバイザーズと提携して、S&P 医療費請求指数の算出を開始しました。
- S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは S&P 米国総合債券指数の算出を開始しました。

2015年

- S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスはフラグシップ指数であるメキシコボルサ指数（IPC 指数）などの指数のライセンス供与・配布・管理を行うために、メキシコ証券取引所（BMV）と提携しました。
- S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスはフラグシップ指数である NZX 50 などの指数のライセンス供与・配布・管理・共同開発を行うために、ニュージーランド証券取引所（NZX）と提携しました。
- S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは共同ブランドのブラジル株価指数の開発・算出開始・配布を行うために、ブラジルのサンパウロ証券・商品・先物取引所と提携し、ブラジル市場で初めてのスマート・ベータのベンチマークである S&P/BOVESPA スマート・ベータ指数ファミリーの算出を開始しました。
- S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは日本取引所グループと提携して、日本市場で利用可能な初めての本格的な債券ボラティリティ指数である S&P/JPX 日本国債 VIX 指数の算出を開始しました。
- S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、S&P 500 の構成企業の社債に基づき日中に値付けされる初めての債券指数である S&P 500 債券指数の算出を開始しました。

2016 年

- S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは実物資産の初めてのグローバル・ベンチマークである S&P 実物資産指数の算出を開始しました。
- S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、ターゲット日の指数への新たなアプローチである S&Pリタイアメント・インカム及びデキュミュレーションへのシフト (STRIDE) 指数シリーズの算出を開始しました。
- S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスはS&P長期的価値創造 (LTVC) グローバル指数の算出を開始しました。
- S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスはS&P 中国500指数の算出を開始しました。
- S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの親会社であるマグロウヒル・フィナンシャルはS&P グローバルとなりました。